



# 翁島小学校だより

第21号 H30. 2. 23発行 文責: 校長 星 善樹

## 野口英世博士顕彰記念町内小学校スキー大会

～5年生、6年生頑張りました。6年Y. Yさん、最高記録賞！！～

2月6日(火)、平成29年度第46回野口英世博士顕彰記念町内小学校スキー大会が、猪苗代スキー場、町クロスカントリースキーコースを会場に行われました。天候に恵まれ、子ども達は日ごろの練習の成果を発揮し自己ベスト目指して力を尽くしました。当日は、保護者の皆様にご支援ご協力をいただきました。ありがとうございました。



Y.Y.さん  
最高記録賞を受賞した

### ◎クロスカントリースキー



### ◎ 入賞者 ～おめでとう！！～

#### 6年女子

- 第1位 Y.Y さん 9分34秒0 最高記録賞
- 第5位 O.R さん 10分23秒4
- 第10位 S.W さん 11分56秒1

#### 5年男子

- 第3位 S.R さん 10分04秒6

#### リレー

女子(O.Rさん、N.Mさん、Y.Yさん)

- 第4位 記録 33分02秒2

男子(S.Rさん、H.Gさん、S.Kさん)

- 第5位 記録 36分24秒4

## ◎アルペンスキー



## ◎ 入賞者 ～おめでとう！！～

|      |     |    |       |
|------|-----|----|-------|
| 6年女子 |     |    |       |
| 第 4位 | K.S | さん | 48秒41 |
| 6年男子 |     |    |       |
| 第10位 | E.H | さん | 57秒05 |
| 5年女子 |     |    |       |
| 第 6位 | K.W | さん | 56秒83 |
| 5年男子 |     |    |       |
| 第 6位 | F.Y | さん | 56秒08 |

## 「去稚心(啓発録)」から考える・・・

「去稚心」【稚心(ちしん)を去る】－橋本左内『啓発録(けいはつろく)』－

6年生から、卒業文集の原稿を依頼され、「去稚心」という言葉について書きました。「去稚心」とは、橋本左内(1834-1859)が、15歳の時にそれまでの自分自身の弱い心や行動を恥じて、自らの志を遂げるためにその決意を書き上げた啓発録(5条の言葉から成る)という中に記されています。稚心とは、子供じみた心。周りを考えずに好きな事ばかり、楽な事ばかり追いかけ、困ったことがあれば親の陰に隠れるような幼い心をいいます。「稚心」を捨てなければよい勉学はできない、自らの志は遂げることはできないと左内は考えたのです。この言葉の意味を考えながら宮城教育大学名誉教授の相澤秀夫先生の言葉を思い出しました。先生は、小・中学生に授業をする時に、「幼稚なのは恥ずかしいよ。賢い勉強をしようね。」ということをまず、話されます。授業をしていると勝手におしゃべりをしたり、教師が説明をしている時に先回りして質問したりするような子の姿が時折見られます。これらは、幼稚な姿と言えると思います。教師や友達の話をよく聞き、自分の考えをしっかりとって意見を交換し、学び合う「賢い学び」ができてこそ、本校の教育目標の実現につながります。教職員が心を一つに同じスタイルで指導をし、賢い学びができる子を育てていきたいと考えています。



橋本左内  
(1834-1859)